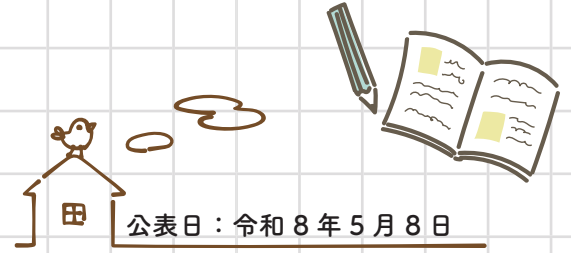


令和7年度

COMPASS.Sunny 事業所における自己評価総括表(公表)



公表日：令和8年5月8日

○事業所名	COMPASS.Sunny		
○保護者評価実施期間	令和7年 9月 10日		～ 令和7年 9月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 3	(回答者数)	1
○従業者評価実施期間	令和7年 9月 5日		～ 令和7年 9月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 2	(回答者数)	2
○訪問先施設評価実施期間	令和7年 9月 10日		～ 令和7年 10月 11日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数) 3	(回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 10月 11日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	(支援の充実) COMPASSでは全国に事業所を展開しており、横のつながりが強く、定期的に全事業所で会議を実施し、情報共有をおこなうことで、適切なアドバイスを受けることができます。	COMPASSでは訪問支援の質向上を目的として、専門性のある職員の知識と経験を活かし、事例や支援方法に関する勉強会を定期的実施しております。	事業所間の連携を維持し、勉強会や情報共有を継続することで、職員の更なるスキル向上に努めてまいります。
2	利用児童様一人ひとりの発達段階や特性を的確に把握し、それぞれの状況に応じた支援を計画的に実施しています。 保育所や家庭との連携を重視し、情報共有や助言を通して一貫した支援体制の構築に努めている点が評価できます。	児童一人ひとりの発達特性や学習環境を把握するため、訪問前後の情報収集と振り返りをおこなっております。 訪問先職員との連携を重視し、実践につながる助言の工夫に努めております。 また、事例検討や意見交換を通じて支援の質向上に努めております。	支援内容や助言事項の記録方法を見直し、情報共有の統一に努めてまいります。 定期的な振り返りや事例検討を実施し、支援の一貫性と継続性の向上に努めてまいります。
3	関係機関との連携体制が確立しており、訪問後の情報共有や助言が丁寧かつ迅速におこなわれています。 関係機関との協働により、支援内容の一貫性が保たれ、児童の発達支援が円滑に進められている点が評価できます。	関係機関との信頼関係を重視し、日常的な連絡や訪問時の対話を通じて円滑な連携に努めております。 助言は実践しやすい具体的内容となるよう工夫し、教育現場での活用につなげております。 また、訪問後も相談対応や情報共有を継続し、支援内容の充実にも努めております。	訪問後のフォロー体制を明確化し、助言内容の実践状況を確認できる仕組みづくりに努めてまいります。 関係機関と連携し、家庭・学校・事業所が一体となった支援体制の充実に努めてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援内容や助言事項の記録様式が職員によって異なる場合があり、情報共有の方法に統一性が十分でない場面がみられます。 今後は記録や共有の仕組みを整備し、支援の一貫性をより確保できるよう努めてまいります。	職員の経験や専門分野の差により、支援方法や助言内容に個人差が生じていると認識しております。 共通理解や支援手法の統一が十分でないことが、支援のばらつき要因となっております。	事例共有やケース検討の機会を定期的に設け、支援方針や助言基準の統一に努めてまいります。 事業所全体で一貫した支援体制の構築に努めてまいります。
2	訪問後の助言内容や支援結果を継続的に検証する仕組みが十分に確立されていない状況があり、支援効果を体系的に把握する体制の強化が課題と認識しております。 定期的な振り返りや評価の機会を設け、支援内容の質向上につなげてまいります。	記録や助言内容の共有方法が統一されていないため、情報整理や振り返りが個人に依存する傾向があると認識しております。 体系的な情報管理の不足が、支援の継続性や効率性に影響していると考えております。	記録方法の見直しと統一をおこない、情報の蓄積と共有の効率化に努めてまいります。 データの一元管理を進め、支援の質と継続性の向上に努めてまいります。
3	職員の専門分野や経験年数に差があり、支援内容にばらつきが生じる場合がございます。 今後は、研修や事例共有の機会を充実させ、全職員の支援スキルと専門性の向上に努めてまいります。	訪問後のフォローや支援効果の検証において、時間や人員の確保が難しい状況があると認識しております。 業務量やスケジュール調整に課題があると考えております。	関係機関との連携を強化し、助言内容の実践状況を把握できる体制整備に努めてまいります。 業務効率化と役割分担の見直しを進め、継続的に質の高い支援の提供に努めてまいります。

